

3類型	観光資源	通巻番号	5-26-010
地域資源名	世界遺産 「紀伊山地の霊場と参詣道」	認定日	平成26年10月15日
地域	奈良県吉野郡吉野町他7村	所管省庁	経済産業省、国土交通省

事業名：世界遺産「紀伊山地の霊場と参詣道」を活用した  
インバウンド観光事業「吉野大峯スピリチュアルリズム」の開発・提供

会社名：吉野大峯ケーブル自動車株式会社      所在地：奈良県吉野郡吉野町吉野山79  
 連絡先：TEL：0746-39-0010      HP：http://www.yokb315.co.jp  
 FAX：0746-39-0011

### 事業概要（新たな活用の視点）

吉野大峯地域に今も受け継がれる修験道や歴史、精神文化などを訪日外国人観光者等を対象に、「自分自身を見つめる」、「自分は自然の一部であることを感じる」等を目的とした体験プログラムを整備する。またこれらを旅行商品や周遊コースとして造成し、関西国際空港と奈良県南部を繋ぐ二次交通サービスも併せて販売していく事で「吉野大峯スピリチュアルリズム」を創造していく。

1. 吉野大峯地域の神秘的な精神文化を体験するスピリチュアル・カルチャープログラムの開発
2. 1の体験プログラムと宿泊、二次交通ほかのサービスを付加した宿泊旅行商品の開発、提供
3. アジア方面、欧米などからのインバウンドおよび関東方面を中心とした販路開拓
4. 本リズムにちなんだお土産品および関連グッズの開発・販売

### 売れる商品づくり（競争力、市場性、販路）

#### ◆競争力

- ・世界遺産登録10周年を迎える「紀伊山地の霊場と参詣道」や「精神文化」をカラーコンテンツとしている。
- ・二次交通や宿泊などをパッケージ化した滞在プランや地元のコーディネーターが企画する着地型旅行商品となっているため外国人旅行者や初心者も参加しやすい。

#### ◆市場性

- ・欧米やアジア方面からの旅行者が増加し、リピーターにおいては買い物などの都市型観光から地方への旅行や日本独自の文化体験などを求めるニーズが増加している。
- ・季節ごとの楽しみ方や組み合わせも豊かであるため国内内容も含めターゲット層が広い。

#### ◆販路

- ・個人手配が多い外国人旅行者に対して、主にインターネットなどのメディア販売を行い集客を伸ばす。
- ・国内では関東を中心にインターネットでの情報発信を行うほか、テーマ別の旅行商品を扱う旅行会社などに売り込み小グループや個人客を集客を伸ばしていく。

### 地域資源における関係事業者との連携

- ・創業90年で培った地元ビジネスネットワークと旅行業を活かし、自治体や観光協会、商工会等の各団体とも連携を図りながら、吉野町、黒滝村、天川村、野迫川村、十津川村、下北山村、上北山村、川上村のほか、奈良県中南和、高野地域を含む広域の観光振興を実現する。

【紀伊山地の霊場と参詣道】



【修験道風景】

